

東海村写真連盟 「フォト常陸」紹介

フォト常陸 代表 成田 富夫

撮影旅行好きな者同士がカメラ片手に知り合い、旅写真クラブを設立(2006年)したことに始まります。その後2007年・2008年には主に東海ステーションギャラリーに於いて「旅写真クラブ展」を開催。思い起こせばこの頃はただ単に「撮る楽しみ」で盛り上がっていたようです。

2009年「特集 茨城の里山」というテーマで旅写真クラブ展を開催(茨城県民文化センター公益財団法人いばらき文化振興財団助成)。この開催を機に単に公開することから“テーマを決めて作品展に取り組もう”という意識が会員に芽生え始めました。

2011年 名称変更「写旅クラブ」

「特集 茨城の滝」写真展(東海ステーションギャラリー)

以降の活動は以下のとおりです。

2012年 「久慈川水系の暮らしと自然」

(県民文化センター・公益財団法人いばらき文化振興財団助成)

2013年 写旅クラブ展(東海ステーションギャラリー)

2014年 「いばらきの海岸線」(県民文化センター・公益財団法人いばらき文化振興財団助成)

2015年・2016年 写旅クラブ展(東海ステーションギャラリー)

2017年 「未来に伝えたい茨城の写真遺産」

(県民文化センター・公益財団法人いばらき文化振興財団助成)

2018年 写旅クラブ展(東海ステーションギャラリー)

2019年 名称変更 「フォト常陸」

フォト常陸展(東海ステーションギャラリー)

2020年 フォト常陸店「茨城の自然と暮らし」

(ザ・ヒロサワシティ会館・公益財団法人いばらき文化振興財団助成)

2021年 「茨城の暮らしと自然」写真集出版記念

(ザ・ヒロサワシティ会館・公益財団法人いばらき文化振興財団助成)

2022年 フォト常陸展 「故郷の記録」(東海ステーションギャラリー)

先に述べたように、撮影旅行を楽しんでいた者同士が親交を深め、グループ展をきっかけに“果たしてこの作品はこれでいいのだろうか”との問いかけが、フォトグラファー大作成一氏を講師に招聘し指導を仰ぐこととなったのです。講師の助言もあり、被写体は茨城の文化・風土・暮らしに重きをおいたもので“郷土茨城そのもの”です。

更に“茨城の暮らしと自然”写真集を発刊できたことは何にもまして嬉しいことです。

20年前に知り合った仲間も高齢となり、以前のような活動はなかなか困難になりましたが研鑽をとおして切磋琢磨した仲間との出会いこそ懐かしく、なによりの財産となっております。

現在会員は11名。年齢というどうしようもない壁にぶつかりながら、健康で撮影できることに感謝し、充実したクラブの運営に努めているところです。フォト常陸のこれまでの歩みを通して本会へのご理解をいただければ幸いです。